

## 令和5年度（2023年度）第31回医学研究助成対象者決定！

認定法人日本多発性硬化症協会

今年度は7名の方々よりご応募をいただきました。ありがとうございました。選考委員3名の先生方に評価をお願いいたしました。今回ご応募いただきました皆様の内容が非常にハイレベルな研究であり、先生方の評価は大変でしたと伺っております。最終的に以下3名の先生方を助成対象者と決定いたしましたのでお知らせ申し上げます。今回ご応募くださりましたすべての皆様に厚く御礼を申し上げます。大変ありがとうございました。

なお、以下の3名の先生方は、令和6年（2024年）10月3日（木）から5日（土）の第36回日本神経免疫学会学術集会にて受賞講演として研究発表される予定です。詳細は後日お知らせ申し上げます。

萩原 彰文 先生

順天堂大学医学部附属順天堂医院 放射線科 准教授

「髄鞘と軸索を定量する Multiparametric MRI による多発性硬化症の病態解明と臨床応用」

高橋 文緒 先生

国立精神・神経医療研究センター 免疫研究部 外来研究員

「EAEの病態形成における LINE-1 レトロ移転の研究」

小口 絢子 先生

帝京大学ちば総合医療センター 助教

「再発時多発性硬化症 exosomes の target cell 及び作用機序の同定」

令和6年1月吉日